

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第44週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (44週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例、後天性免疫不全症候群 1例、百日咳 2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	40歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1)
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	80歳代	女	—	胆嚢炎
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	ショック、急性呼吸窮迫症候群、全身性紅斑性発疹
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	AIDS	咳嗽、発熱、体重減少 指標疾患：ニューモシステイス肺炎
	百日咳	日向	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
10歳代			男	—	持続する咳、夜間の咳き込み	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

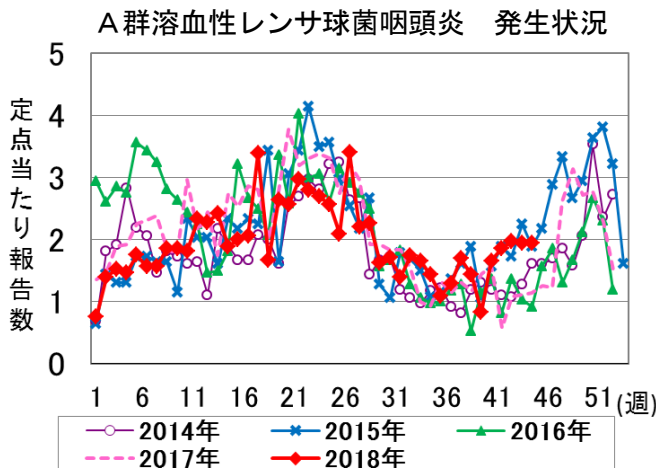
・定点医療機関からの報告総数は521人(定点当たり17.9)で、前週比94%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は水痘で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナである。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

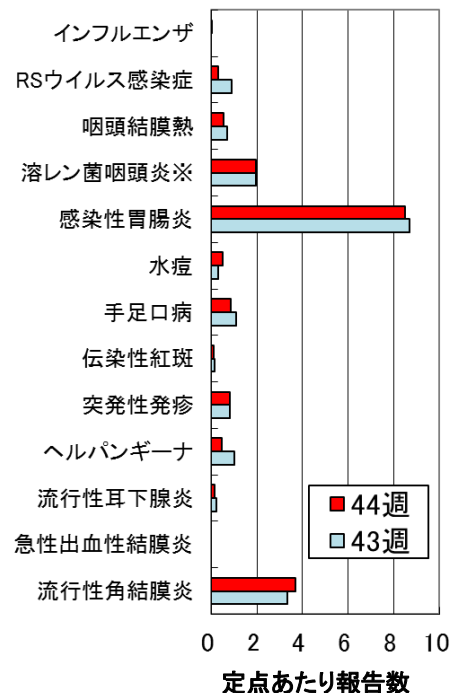
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は68人(1.9)で、前週比100%と横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約1.4倍である。高鍋(4.3)保健所からの報告が多く、年齢群別では4~6歳が全体の約5割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(3.0),水痘(2.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	水痘(1.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(1.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・水痘(2.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・水痘(1.0)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 30 年 11 月 5 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	60歳代	女	2018.10.16		便	2018.10.23
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	女	2018.10.16	感染性腸炎、水様性下痢、腹痛	便	2018.10.23
<i>Salmonella</i> Typhimurium(O4:i:1,2)	5～9歳	男	2018.10.22		便	2018.11.01
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	男	2018.10.23		便	2018.10.31

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	女	2018.08.13	エコーウイルス性発疹、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.10.23
コクサッキーウイルスA9型 コクサッキーウイルスA4型	0～4歳	男	2018.09.03	エコーウイルス、38.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2018.10.23 2018.11.02
アデノウイルス1型	0～4歳	男	2018.08.30	無熱性けいれん、脳症疑い、下痢、意識障害	咽頭ぬぐい液	2018.11.05
エコーウイルス11型	0～4歳	男	2018.09.01	髄膜炎、39.4℃	髄液	2018.10.30
エコーウイルス11型	0～4歳	男	2018.09.20	風疹疑い、37.5℃、躯幹に発疹	咽頭ぬぐい液	2018.10.31
パレコウイルス3型	0～4歳	男	2018.09.04	新生児発熱、39.8℃、発疹(紅斑)、胃腸炎(下痢)、臍ヘルニア	便 咽頭ぬぐい液 髄液	2018.11.02

○乳児 1 名からパレコウイルス 3 型 (HPeV-3) が検出された。HPeV は小児や成人における上気道炎や胃腸炎の原因となるウイルスで、乳幼児では髄膜炎や脳炎、敗血症など重篤な症状を起こすことがある。国内では、2014 年、2016 年にパレコウイルス感染症の流行があり、当所の過去の検出状況をみると、2016 年に 22 件、2017 年に 12 件、今年は今現在までに 2 件検出されている。

○乳幼児 2 名からエコーウイルス 11 型が検出された。エコーウイルスは呼吸器症状や発疹を呈することが多いが、髄膜炎を起こし重症化する場合もあり、注意が必要である。

🇯🇵 全国 2018 年第 43 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 43 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	338 例				
3類感染症	細菌性赤痢	47 例	腸管出血性大腸菌感染症	56 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	6 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	11 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	14 例
	マラリア	3 例	レジオネラ症	43 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	46 例
	急性弛緩性麻痺	9 例	急性脳炎	3 例	クリプトスポリジウム症	10 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	7 例
	ジアルジア症	3 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	45 例
	水痘（入院例）	9 例	梅毒	84 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	262 例
	風しん	170 例	麻しん	5 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑と咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナとRSウイルス感染症である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 6,045 人(1.9)で前週比 114%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 1.2 倍である。石川県(3.3)、北海道(3.2)、鳥取県(3.1)、福岡県(3.0)からの報告が多く、年齢群別では4~7歳が全体の約5割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1,582 人(0.5)で前週比 132%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.17)の約 2.9 倍である。東京都・神奈川県(各 1.3)からの報告が多く、年齢群別では3~6歳が全体の約6割を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は 1,136 人(0.36)で前週比 69%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.23)の約 1.6 倍である。愛媛県(1.1)、香川県・宮崎県(各 1.0)からの報告が多く、年齢群別では1~3歳が全体の約7割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第44週(10月29日～11月04日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		2	1		1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.07	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	31	11	2	2	1	4				1	1
	定点あたり	0.89	0.31	0.22	0.33	0.25	1.33	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	24	19	2	1	12	1		1		2	
	定点あたり	0.69	0.54	0.22	0.17	3.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	68	16	9	11	7	1	17		6	1
	定点あたり	1.94	1.94	1.78	1.50	2.75	2.33	0.33	4.25	0.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	304	297	74	41	25	35	51	35	2	26	8
	定点あたり	8.69	8.49	8.22	6.83	6.25	11.67	17.00	8.75	2.00	6.50	8.00
水痘	報告数	11	18	2	1	10			4			1
	定点あたり	0.31	0.51	0.22	0.17	2.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
手足口病	報告数	38	30	21	1	1			2		5	
	定点あたり	1.09	0.86	2.33	0.17	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	1.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	5	4	4								
	定点あたり	0.14	0.11	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	28	29	10	6	4	1	3	2		2	1
	定点あたり	0.80	0.83	1.11	1.00	1.00	0.33	1.00	0.50	0.00	0.50	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	35	16	3	1	10	1					1
	定点あたり	1.00	0.46	0.33	0.17	2.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	5		3		1				1	
	定点あたり	0.23	0.14	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	20	22	19	1	2						
	定点あたり	3.33	3.67	6.33	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～44週)

2類感染症	結核	142例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	37例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	2例	デング熱	1例	日本紅斑熱	17例
	レジオネラ症	6例	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14例(1)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例(1)	後天性免疫不全症候群	7例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘(入院例)	1例	梅毒	4例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	4例	百日咳	263例(2)
	風しん	3例				

()内は今週届出分、再掲